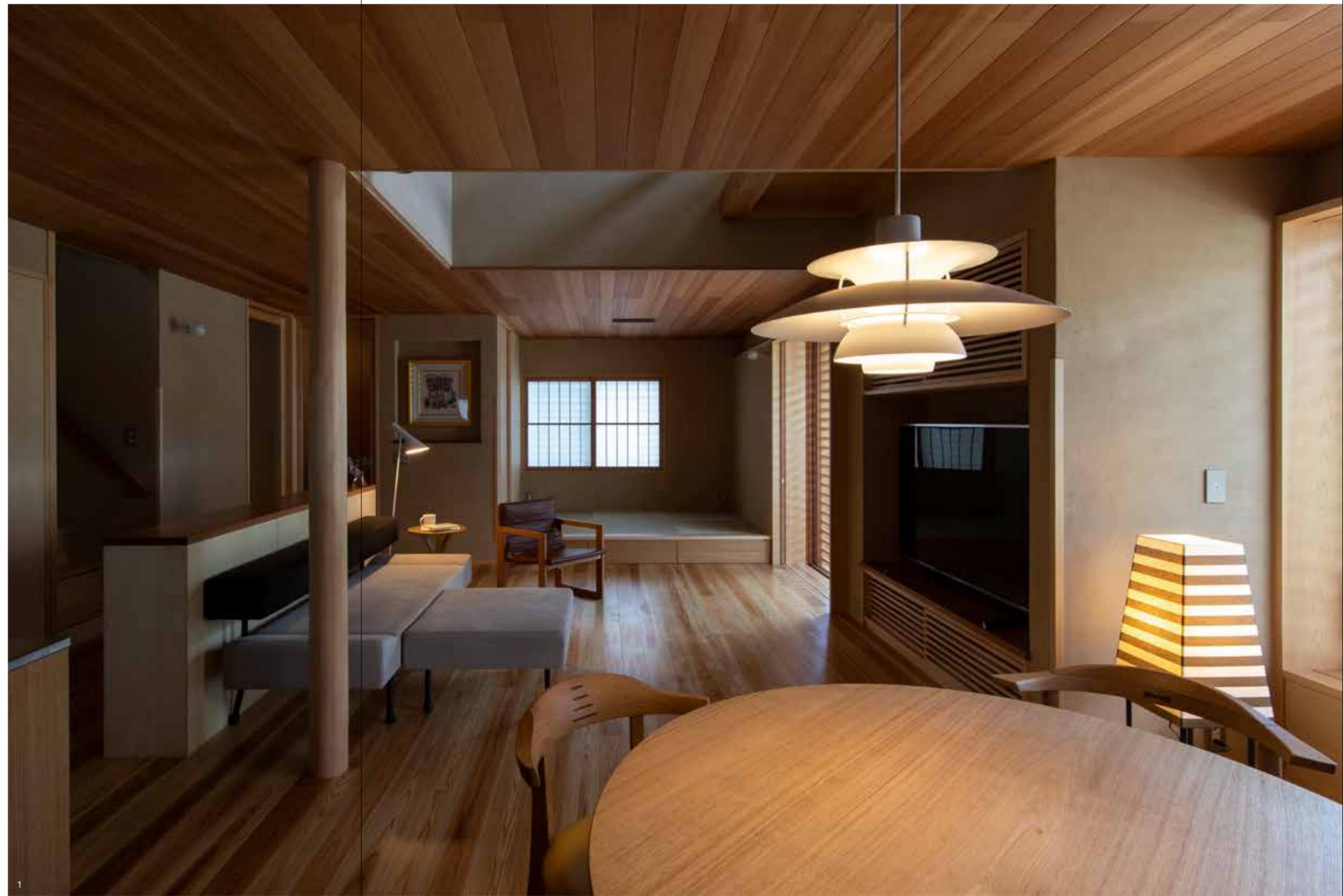


1:リビングダイニングから畳スペースまでつながった空間。中心でアクセントになっているのは京都産の化粧丸太。2:晴れた日にリビングの引き込み窓を開け放せば、室内の延長のようにも使えるウッドデッキ。



2



1

心地よい時を
紡ぐ住まい

Morden_8

S邸 | 茨城
柴木材店

自然素材と手仕事のぬくもりが息づく

庭先にはまだ若い木々の緑が揺れて、白洲そとん壁の白に濃色の化粧戸袋が映えたコントラストのある外観に、柔らかさを添えています。

「家で過ごす時間を充実させて、皆がつながり合える場に」。料理上手な奥様が家族で調理を楽しみたいと希望された、回遊できる広々としたキッチンを中心に、実現したい家族の在り方を設計に落とし込んだ和の住まいです。

招き入れられたLDKは、畳スペースとダイニングが、吹抜けのあるリビングを介してひと続きとなった空間。天井や床の高さに変化を持たせたり、造作棚が適度な間仕切りの役割を果たすことで、いくつものゾーンが生まれ、家族がつながり合いながらも思い思いに過ごすことができます。

大開口の引き込み窓や吹抜け上部に設けられた窓、障子などを通じて室内に注ぐ光を浮かびあがらせる、塗り壁ならではの

表情。左官の手仕事が生かされた刷毛跡の存在感が美しい薩摩中霧島壁は、優れた調湿機能を兼ね備えています。

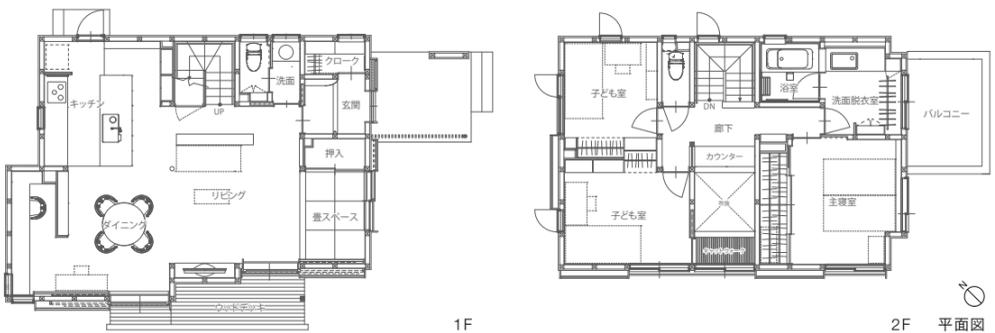
意匠と性能の両面から細部まで心地よさを追求した建築家・伊礼智さんの考え方をベースとする洗練された設計の中に、木材や塗り壁など自然素材のぬくもりが生きる住まいを手掛けたのは、柴木材店。小屋裏に設置した1台の機器で家中の冷暖房がまかなわれ、四季を通じて過ごしやすい温熱環境が保たれるOMXシステムを採用しています。これにより、夏は木陰、冬には陽だまりのような快適さが得られます。

「実際、家族みんなでリビングに集まって過ごす時間が増え、思い描いていた通りになりました」と、顔をほころばせるS様。枝葉を伸ばしながら育っていく緑のように、この住まいで、家族の揺るぎない絆とそれぞれに伸びやかな時間が紡がれています。



1：外壁は、白洲そとん壁掻き落とし仕上げで表情を出している。2：塗り壁と無垢材のコントラストが美しい玄関アプローチ。3：リビングの延長線上にあるウッドデッキ。ゆったりとした至福の時間が流れる。4：家族みんなで調理を楽しむアイランド型のキッチンからは、リビング全体が見渡せる。5：茶室のように心を整えてくれる畳スペース。塗り壁

ならではの質感も美しい。6：LDKの一角に設けられた書斎兼ワークスペース。間仕切りの造作棚の裏には、ホワイボードを据え付けた。薩摩中霧島壁の刷毛跡が美しい。7：檜の香りとぬくもりある質感に癒される浴室。和の魅力が息づきながら、モダンで明るい空間に。8：家族構成に合わせた段数の造作棚も備えるサニタールーム。壁は檜緑甲板張り。



S部	
設計・施工	柴木材店
所在地	茨城県つくば市
敷地面積	200.02㎡
延床面積	124.28㎡
	1階 / 55.27㎡
	2階 / 69.01㎡
構造	木造軸組工法
家族構成	夫婦+子ども2人
竣工	2022年4月

